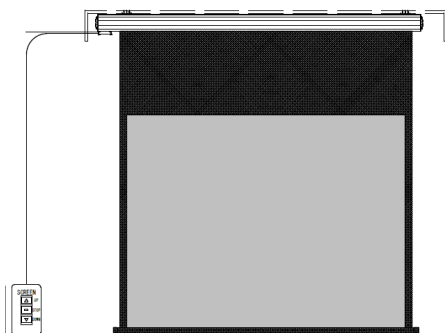
＊ご使用する方に必ずこの取扱説明書をお渡し下さい。

取扱説明書 電動巻上スクリーン（ケース入）

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、製品を正しく安全にご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。
万一、ご使用中にわからない事や不具合が生じた時きっとお役に立ちます。

安全上のご注意

□絵表示について この「取扱説明書」では、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり周囲の家財に損害を与えたりする事があります。

□絵表示の例

	この記号はしてはいけない内容です。
	この記号は実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

必ず守る

引抜強度を確保できる場所に取り付けて下さい。

取付場所の強度が不十分な時、落下などで事故の原因になります。

＊ 十分な強度（最低引抜強度5倍以上）に補強してから取り付けて下さい。

禁止

火気近くでは使用しないで下さい。

ストーブなど火気近くでは使用しないで下さい。
火災・火傷・故障の原因になります。

禁止

異物を入れないで下さい。

液体や金属などが内部に入ると、故障の原因になります。

禁止

塩素や腐食性ガスが発生する場所に設置しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

可燃性ガスの中で使用しないで下さい。

可燃性ガスに引火・爆発する恐れがあります。

禁止

振動する場所に取り付けないで下さい。

部品などが破損し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

油の付着しやすい場所に設置しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

禁止

高温・多湿の場所では使用しないで下さい。

部品などが劣化し、故障や落下などで事故の原因になります。

⚠ 警告

製品を改造したり、部品交換をしないで下さい。

火災・感電・故障などで事故の原因になります。

危険ですのでお子様に手を触れさせないで下さい。

事故に繋がる恐れがあります。周囲の安全を確認してご使用下さい。

ケーブル類は引っ張らないで下さい。

火災・感電・漏電・故障の原因になります。

配線は正しく行って下さい。

誤配線によりショート・火災・漏電・故障の原因になります。

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って下さい。

異常事態が収まった事を確認し、販売店または専門の工事業者にご相談下さい。

⚠ 注意

スクリーンを昇降させる時、周囲に人や障害物がない事を確認してから操作して下さい。

スクリーンの下端部には下パイプが付いていますので、ぶつからないようご注意下さい。

製品にぶら下がったり、掲示物を掛けたりしないで下さい。

スクリーンの操作は、必ず操作スイッチで行って下さい。

製品を安全に使用するために、1年に1回はP.8の「安全チェックシート」に基づき、自主点検を行って下さい。

製品は経年劣化します。設置して年月が経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をして下さい。

スクリーンのスイッチは、濡れた手で触れないで下さい。

点検・お手入れの際は電源を必ず切って行って下さい。

廃棄は専門業者に依頼して下さい。燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災・火傷の原因になります。

製品の取り付け・取り外しは、販売店または専門の工事業者にご依頼下さい。

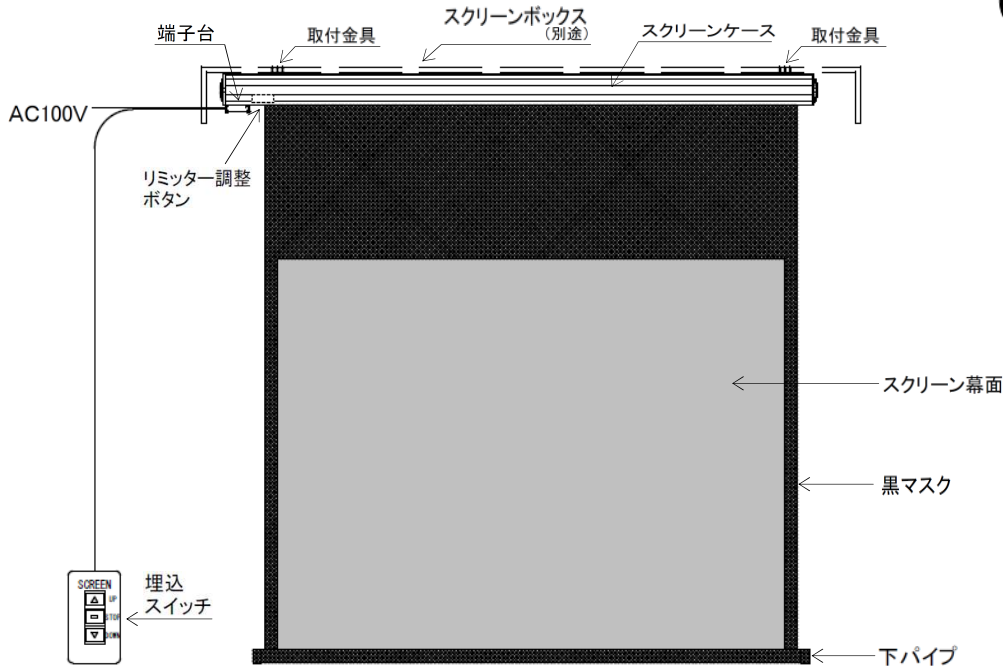
◆免責について

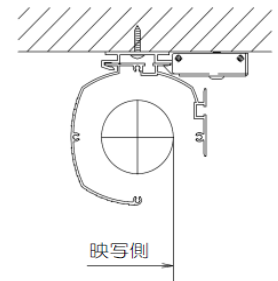
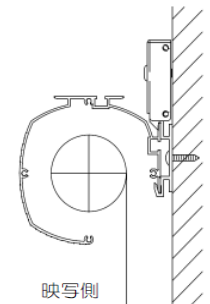
弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

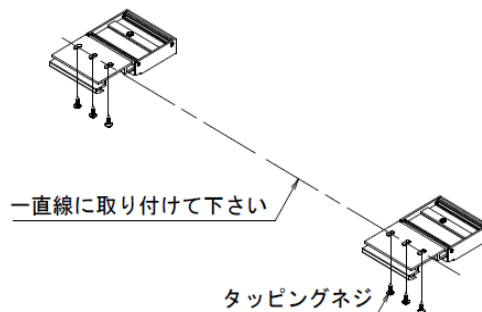
① 本取扱説明書記載の内容に反した工事、使用により発生した損害・被害
② 本製品の不良・不具合以外の事由（火災・自然災害・設置工事の不備・建屋側取付面の不良などを含む）による落下、転倒などによる損害・被害
③ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できない事で被る不便・損害・被害

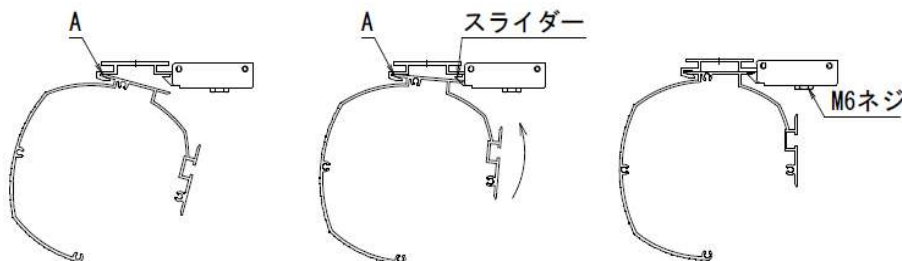
製品の取付手順

＊製品が間違っていないか、付属品がきちんと揃っているかお確かめ下さい。

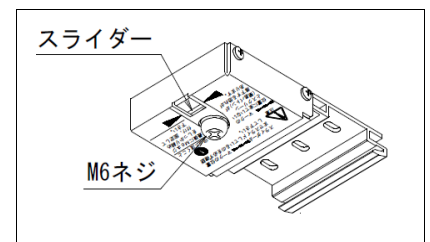
本製品は工場出荷時に調整済みです。
分解せずに取り付けて下さい。

付属品	埋込スイッチ	ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾈｼﾞ	取付金具（壁･天井用）	落下防止ワイヤー				
				落下防止ワイヤー	ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾈｼﾞ	平ﾜｯｼｬｰ	ｱﾌﾟｾｯﾄﾈｼﾞ	※六角ﾅｯﾄ
中型ケース	1個	6本（4×40）	2個	2本（φ1.5　L=150）	2本（4×40）	2個（5.5×18×1.6）	2本（M6×10）	2個（M6）

※六角ナットはケースに組み込まれています。

❶ 取付金具の設置

取付金具のスライダーを固定しているM6ネジを少し緩めて、スライダーがスムーズに動く事を確認して下さい。
取付金具（壁・天井用）2個を並べて一直線になるよう、付属のタッピングネジでしっかり固定して下さい。

❷ スクリーンケースの固定

下記の順序でスクリーンケースを取り付けて下さい。

ケースを傾けながら
ケース取付金具内部（A部）に押し当てる。

Aを支点にケースを上げる（円弧の動き）。
スライダーがスムーズに後退する事。

スライダーがバネの力で戻る時、**カチッと音がするまで押し込む。**

スライダーが ► ◄ マークの位置までスライドしているのを必ず確認して下さい。
＊ スクリーンが脱落する危険があります。
最後にM6ネジをしっかり締め付け、固定して下さい。

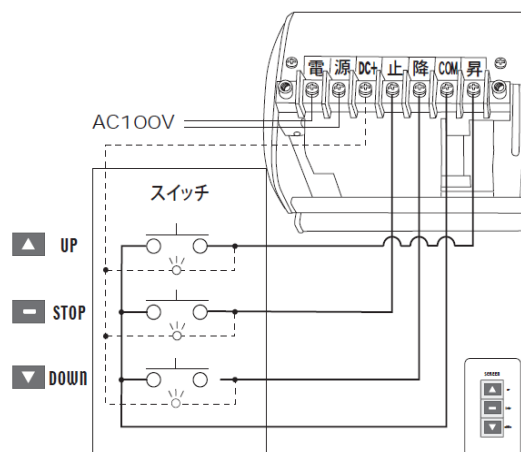
結線の方法

● 端子台カバーを外し、電源線・操作線を結線して下さい。

◆ **必ず電源を切って作業して下さい。**
※ 電源線はφ1.6㎜×2ｃ相当以上で配線して下さい。
（配管配線工事は別途です。）
※ 操作線は0.75㎟×４ｃ相当以上で配線して下さい。
（配管配線工事は別途です。）

● スイッチを結線して所定の場所に取り付けて下さい。
（壁埋込みボックスは別途です。）

● 点灯式スイッチをお使いになる場合は、ＤＣ＋をご使用下さい。
（点灯式スイッチは別途です。）

● 最後に結線が正しく行われているか（他の線と触れていないか等）
確認し端子台カバーを取り付けて、電源を入れて下さい。

スクリーン停止位置の調整

本製品は工場出荷時に上部黒マスク寸法をあらかじめ設定してありますが、取付場所の状況に応じ、リミッター調整によって停止位置を任意の位置に変更することが出来ます。

調整時のご注意

連続して（約5分程度）昇降を繰り返すと、モーターに内蔵されているサーマルプロテクターが働き、操作スイッチを押してもモーターが作動しなくなりますが、これは故障ではありません。
30分程度で自動的に復帰します。

＊モーターが作動しなくなった時は、必ずＳＴＯＰボタンを押して下さい。
自動復帰した時に動くため危険です。
リミッター調整は停止位置を確認しながら行って下さい。
上限リミッター調整ボタンは、絶対に触れないで下さい。

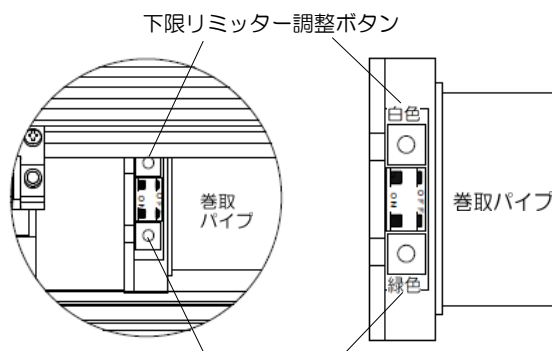
※ 工場出荷時には、上部マスク寸法を最大に設定していますので現状のリミット位置より下げる事はスクリーンの脱落の恐れがありますのでおやめ下さい。

●停止位置を調整する時

白色のリミッター調整ボタンカバーを外し、
下記の手順で停止位置を調整して下さい。

① 下限（上限）リミッター調整ボタンを
押し込み、▁ ＯＦＦの状態にして下さい。

② スイッチの［▲］［▼］ボタンで位置を調整し、
ご希望の位置で［STOP］を押して停止させて
下さい。

③ 下限（上限）リミッター調整ボタンを
再度押し込み、■ ＯＮの状態にして下さい。
その位置で上限・下限が設定されます。

※この上限リミッター調整ボタンは絶対に触れないで下さい。

万が一触れた場合は、左記①〜③の手順で
再度上限の調整を行って下さい。

ご使用方法

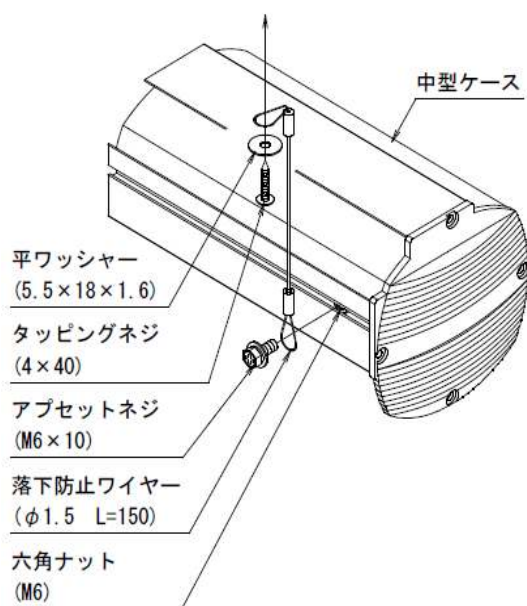
スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。スイッチを一度押せば製品の内蔵リレーが作動して、あらかじめ設定した停止位置まで自動的に動き停止します。

▲ **スクリーンを収納する時**
スクリーンが自動的に上昇して収納され停止します。

－ **非常停止の必要がある時**
スクリーンを直ちに停止させる時。
また､作動中のスクリーンを任意の位置で停止させる時。

▼ **スクリーンを使用する時**
スクリーンが自動的に下降して設定された停止位置で停止します。

ケース落下防止ワイヤーセットの取付手順

● 天井もしくはボックス上部に取り付けます。

付属品（中型ケース用）	
落下防止ワイヤー（φ1.5 L=150）	2本
平ワッシャー（5.5×18×1.6）	2個
タッピングネジ（4×40）	2本
アプセットネジ（M6×10）	2本
※六角ナット（M6）	2個

※六角ナットはケースに組み込まれています。

● ケース落下防止ワイヤーセットの取付

落下防止ワイヤーの輪にアプセットネジＭ６×１０を通してケース本体のＭ６ナットに取り付けます。
落下防止ワイヤーのもう一方の輪にはタッピングネジ４×４０に平ワッシャーを取り付けてから
天井もしくはボックス上部にねじ込みます。

注意：左右2ヶ所に取り付けて下さい。

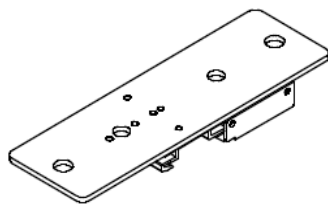
このケース落下防止ワイヤーセットは製品を取り付ける為の金具ではありません。

地震や施工不良などの要因で落下する事に対して、より安全を守る為に施工する金具です。

取り付けは建築用鋼製下地材のある所か、補強するなどして十分な強度のある所へ

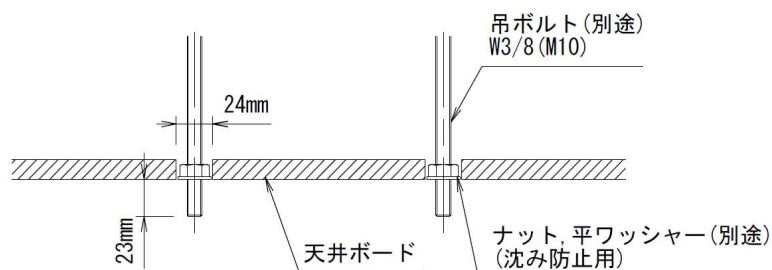
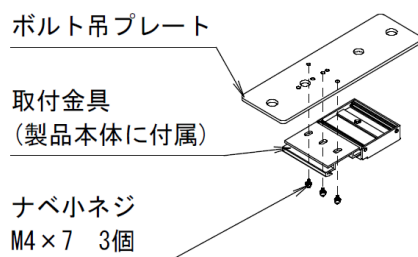
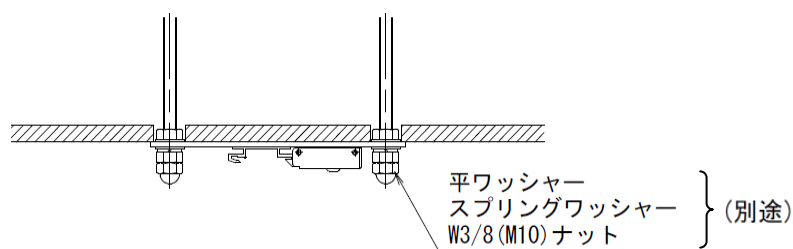
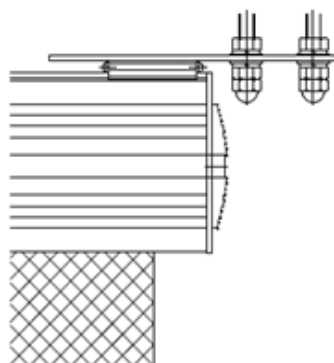
取り付けて下さい。

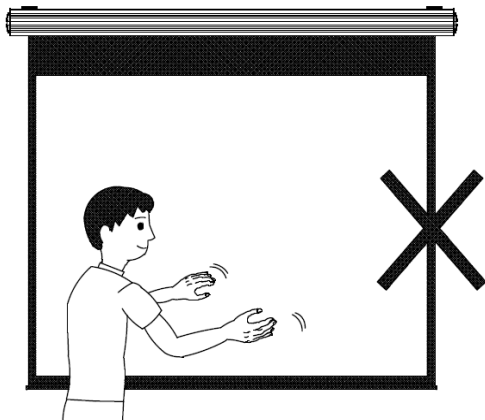
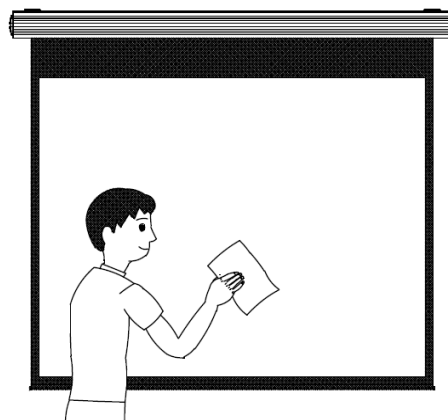
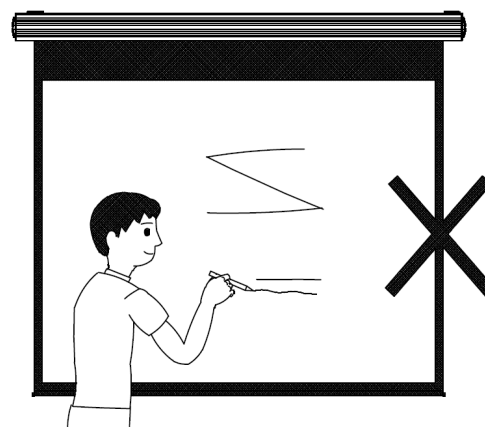
別　売　品

● ボルト吊金具　十分な強度のある躯体に取り付け出来るので、より安全性を高める場合にご使用下さい。

別売品	ボルト吊プレート	ナベ小ネジ　P=3
中型ケース	２　枚	６　個 （M4×7）

【取付例】

① 十分な強度のある躯体より吊ボルトW3/8（M10）をおろして下さい。

＊ 天井ボードに、24mm程度のナット・平ワッシャーが通る穴を開けて下さい。
天井面からボルトの突き出し量は、23mm位出して下さい。

② ボルト吊プレートに取付金具をナベ小ネジＰ=3（M4×7）のネジでしっかり固定して下さい。

③ 最後にボルト吊プレートを吊ボルトW3/8（M10）に平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットでしっかり固定して下さい。（スクリーンケースの固定はＰ．３を参照して下さい。）

＊ 下記のような取付方も出来ます。

⚠ スクリーン幕面についてのご注意

スクリーン幕面に直接手を触れないで下さい。

スクリーン幕面についたホコリを取る時は、柔らかい乾いた布で軽く払い取って下さい。

スクリーン幕面に鉛筆やマジック等で字を書かないで下さい。もし誤って書かれても消す事は出来ません。

スクリーンケースの汚れは、柔らかい布で拭き取って下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤液で軽く拭き取って下さい。

スクリーン幕面をベンジンやシンナー類で絶対に拭かないで下さい。また水拭きも出来ませんのでご注意下さい。

使用場所・取付場所・保管について

直射日光の当たる場所には置かないで下さい。
ホコリ・高温多湿の場所では使用しないで下さい。
風が強い時は、製品を使用しないか窓を閉めてご使用下さい。

新しい製品をご使用になる場合、人によって『におい』を感じる場合があります。
人体に影響はありませんが、『におい』が気になる場合は窓を開けるなどして換気を行って下さい。
また、ご使用されない時にもスクリーン幕面を引き出して換気を行う事で『におい』が徐々に解消されていきます。

より安全にお使いいただくために

お客様へ　空白には気づいた事など記載して下さい。毎年1回の自主点検をお勧め致します。

		点検結果									
安全点検項目		日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /	日付 /
1	スイッチを押しても作動しない時がある										
2	スクリーンが任意の位置で止まらない										
3	スクリーンに破れや剥がれがある										
4	スクリーンに汚れ・たわみ・しわが目立つ										
5	異音がする										
6	製品にガタつきがある										
7	取付金具がきちんとついているか										
8	落下防止ワイヤーがきちんとついているか										
9	設置後10年以上経過している										
10											

正常：○　異常：×

上記項目以外でも不具合があれば、販売店または専門の工事業者にご相談下さい。

設　置　日：　　　　　　　　　　シリアルNo.　：
（スクリーン幕面の裏側にあります）

販　売　店：　　　　　　　　　　連絡先　：

AK20130412